２年　数学科　休業中の課題（５月２５日～）アドバイス

取り組み時間（目安）
４時間

①学習の目標

単項式の乗法と除法の計算ができる

②準備するもの

・数学リピート学習
・教科書
・説明プリント

③学習の方法・手順

・教科書Ｐ２２～Ｐ２４の例題を確認する。
・リピート１５A～１９Ｂを進める。

④学習のポイント・取り組み方の例

☆わからない生徒は、すぐに解答を見るのではなく、教科書の例題や説明プリントを横に置きながら進める。
☆どうしてもわからない問題は、別の紙に答え見ながら取り組み、再度リピートで解きなおしてみる。

１５AB：同じ文字の積は累乗で表す。数字同士は、しっかり計算する。（約分を忘れずに）
１６AB：単項式の累乗は、指数の直前にあるものを指数の回数だけ計算する。
※$(2y)^2 = 2y \times 2y = 4y^2$ 指数の直前が〔　〕の場合は、〔　〕の中の数字を指数の回数だけかける。
１７AB：除法は、分数の形で表すか、乗法に直して計算する。（乗法に直した時は、逆数にする）
　　分母、分子に同じ文字がある場合は、同じ数だけ約分して消す。
１８AB：割る数が分数の時は、乗法に直して逆数にする。分母、分子が入れ替わる時に注意

※ $\div \frac{1}{2}y$（ｙは分子にある）　→ $\times \frac{2}{y}$

１９AB：乗法と除法が混ざっている場合は、すべて乗法に直してから計算する。
　　そのときに、１つの大きな分数で表すと約分しやすい。

⑤自己評価の仕方

・解答を見ながら、１問ずつ丸付けを行う。
・間違えた問題は、赤ペンで途中式を含めて解き直しを行う。（答えを見ながらでも構わない）
・余裕がある生徒は、P30 基本のたしかめ $\boxed{1}$～$\boxed{5}$、P31 章末問題１～４に取り組み学習の振り返りを行う。
（答えは、教科書についている別冊 MathNavi ブック２　P36,37 に載っています）